

2012年2月4日

NEWS RELEASE



株式会社アマダ
担当 広報・IR部

URL: <http://www.amada.co.jp>

〒259-1196 神奈川県伊勢原市石田 200

アマダ スイスの機械販売会社を買収 欧州の販売拠点拡大へ

アマダ（社長 岡本 満夫）は、1月にスイスの機械販売会社 AMASYS GmbH の全株式を取得した。取得金額は2億円で買収後は Amada Swiss GmbH に社名変更、スイス全域のアマダ製板金、プレス、切削、工作機械の販売サービスを担当する。社長は、Amada SA（フランス子会社）から派遣する予定。従業員は当初10名からスタートし、現在5億の売上を3年後には3倍の15億円を目指す。

AMASYS社は2007年設立で、主にスイス国内でアマダの板金機械の販売を行っていた。

現在、スイスの板金市場は年間100億円と推測されているが、アマダの昨年度の売上は約5億円程度と市場規模に比較すると満足のいく販売量ではなかった。本社を置くビストロニク、レーザマシンの主力工場を置くトルンプがシェアを分け合う形となっている。特にレーザマシンにおいては2社で8割を占めていると推測される。

しかし、スイスは工業品のレベルもお客さまの要望レベルも高い成熟市場で、アマダも既にベンディングマシンを中心に1400社に1600台の板金機械を納入している。特に最近では人件費が高いことから自動化、デジタル化のニーズが高まっている。アマダが直接法人を設立することで、お客様の信頼感を高め、ドイツのソリューションセンターとの連携によりきめ細かなソリューション提案を行っていくことで、売上を大きく伸ばせる余地があると判断した。

板金加工機械の主力製品であるレーザマシン関連の需要が世界的に拡大していく中、レーザ市場売上の50%を占める欧州の機械メーカーが、ユーロ安を背景に新興国のみならず

日本市場においてもシェア拡大を狙い勢い付いている。

こういった状況の中で、アマダは世界の板金市場の 50%を占め、かつ現地生産が 80%を占め為替の影響を受けにくい欧州市場へ経営資源を投入してきた。既にドイツ、フランス、イギリス、イタリアなどに販売サービス拠点、ソリューションセンター、テクニカルセンターの整備が完了しており、今後はロシア東欧圏、北欧、スイスなど従来欧州の現地法人に任せていた地域を直接テコ入れすることで欧州でのシェア拡大を狙う。

以 上